ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

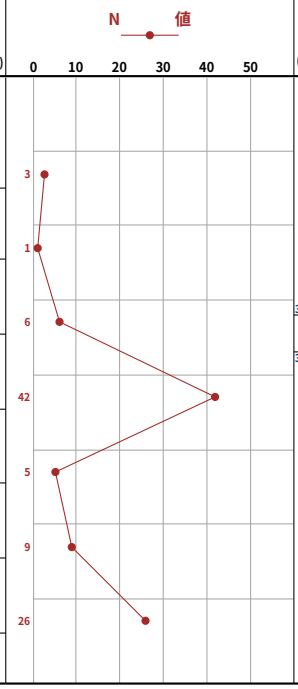
シートNO.

ボーリング名	No.B-4	調査位置				北　緯	36 ° 20 ' 20.0000 "
発注機関	栃木県 栃木土木事務所		調査期間	2009-07-09 ～ 2009-07-10		東　経	139 ° 50 ' 04.0000 "
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	41.00 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総掘進長	7.45 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					盛土	暗褐		らい	礫混じりシルト。径2～75mm程度の礫が混じる。コンクリート塊等廃棄物が混じる。		07/10 0.77
	40.10	0.90	0.90								
1					礫混じりシルト (M-G)	黒褐		軟らかい	軟らかい。腐植物が混じる。径2～30mm程度の礫が混じる。		
	39.30	0.80	1.70								
2					高有機質土 (Pt)	暗褐		に軟らかい	ピート主体。砂～礫分が混じる。		
	38.50	0.80	2.50								
3					シルト (M)	暗褐		軟らかい	腐植物が混じる。径2～10mm程度の円礫が混じる。		
	37.80	0.70	3.20								
4					粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗青灰	密実な礫		中位～密な。径2～30mm程度の亜円～円礫主体。3.2～3.4m付近は軽石(灰白色)が混じる。4.0m付近より粘土分が少ない。4.3m付近より砂分が多い。		
	36.20	1.60	4.80								
5					シルト (M)	暗褐		軟らかい	軟らかい。微細砂が混じる。		
	35.60	0.60	5.40								
					細砂 (FS)	暗青灰	中ぐらい		微細砂が主体。		
6	35.00	0.60	6.00								
					砂混じりシルト (M-S)	暗灰		らい	所々、細砂の薄層を挟む。		
	34.40	0.60	6.60								
7					細砂 (FS)	暗灰	中ぐらい		粗砂分が混じる。細礫が点在する。		
	33.55	0.85	7.45				中ぐらい				

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1／15	1	3／35	3
1.50					
2.15	1／30			1／30	1
2.45					
3.15	2／15	1／5	3	6／30	6
3.45					
4.15	12	12	18	42／30	42
4.45					
5.15	1	2／15	2／5	5／30	5
5.45					
6.15	1	3	5	9／30	9
6.45					
7.15	7	9	10	26／30	26
7.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
3.20	透水試験 1.34E-04
3.70	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
2.50	4	
3.20		

室内試験

掘進月日